

1

ステップ①：葉面散布・灌水・土壌消毒で使用する みどりの放線菌水溶剤の使い方

「みどりの放線菌」2kgで、 1トンの水溶液としてお使いいただけます。

みどりの放線菌水溶液の散布量は10アールあたり30ℓ～100ℓになります。
1回100ℓなら10回分としてご利用いただけます！

散布量によって、みどりの放線菌の使用量が変わってきます。
まずは、**使い方（葉面散布 or 土壌灌水 or 土壌消毒）**を決めてください。

葉面散布

散布量：10aあたり 30ℓ～100ℓ

病気の発生している場合は

発生箇所を中心に霧状にうまく膜をはるよう散布してください。

予防の場合は、朝霧がかかるような
感じで全体に散布してください。



土壌灌水

散布量：10aあたり 500ℓ程度

病気の発生している場合は

発生箇所の根圏中心に灌水してください。

予防の場合は、畑全体にタツプリと
灌水してください



土壌消毒

散布量：10aあたり 1000ℓ

土壌消毒で使用する場合は

通常より多めの10アール1t(1000ℓ)

※**土壌消毒で使用する場合は別紙資料を**
用意しております。お問い合わせ下さい。



散布量と回数決定のポイント！

散布回数は1作を通して、10アールにみどりの放線菌が2kg以上散布されることが
効果を上げるポイントです。合計2kg以上になるように散布量と回数を設定してください。